

## 流れるままに(1)

＝私たちの意志と神の意志＝

### 聖書:ルツ記

(1) 特徴:ルツ記はエステル記と共に、神が直接に出てこない書→人の意志を通して働く神の意志を人の物語として描く

(2) 人の意志:1章8節;10節;11節;16節;18節;2章2節;5節;etc.

(3) 人は神のかたちに造られ、人の良心には異邦人でも神の律法が書かれている(ローマ2:14,15;cf.詩篇147;19,20)→人の道は神の道(のはずだった)

(4) 人の意志と神の意志の調和があれば、平安と喜びがある(ローマ8:6)→人の成長度合いによって異なる(自由裁量権＝任されている領域の存在)

(5) 私たちの生き方:委ねる・明け渡す(ヤコブ4:15)→自分の心とひとつ(cf.ヤコブ1:8)→キリストの思いが御霊によって私たちの心に反映する(1コリント2:16)→私たちの意思決定→言動とその実

(6) 神の意志と人の意志が綾なされて、神の統治が実現する(ヘブル8:10;詩篇16:5-11)